

県立高校 令和 2 年再編統合の概要

県立高校の再編統合は、「県立高校再編の基本方針(平成 30 年 2 月 5 日)」において、中学校卒業予定者数が平成 30 年度には 1 万人を割り、ピーク時の昭和 63 年度に約 2 万人であった卒業生の半数に減少し、さらに平成 34 年度(令和 4 年度)には 9 千人を割り込むなど大幅な減少が見込まれる中、引き続き中学生に幅広い選択肢を確保し、本県の高校教育を充実するため、進めるものとされた。

こうしたことを踏まえ、県立高校を 1 学年 4 から 8 学級とすることを目指し、一定の学校規模を確保することや学習活動や部活動の充実に当たっては、魅力ある教育内容を取り入れるなど、新たな特徴を明確にしていくとともに、新しいカリキュラムや特色ある部活動を実施するための教育環境の整備が必要であることとされた。再編の進め方については、平成 30 年からの生徒数の減少や、それ以降の平成 32 年(令和 2 年)からの急減を十分に踏まえながら、段階的かつ着実に進めることが望ましいとされた。

○再編計画における再編基準・再編数・対象校

(1) 再編基準 — 「県立学校整備のあり方等に関する報告書」(H28. 4)

再編基準については、次のとおりとすることが望ましい。

- ・ 1 学年 4 学級未満又は 160 人未満の規模の学校については、再編統合の検討の対象とする。その際、1 学年 3 学級未満又は 120 人未満など極めて規模の小さい学校から検討する。
- ・ 全県的な視野から特色ある教育活動の展開が期待できるなど特別な事情(職業科単独校、地理的な制約)がある場合は、対象としない。
- ・ 生徒の通学の利便性など教育条件に配慮し、再編統合による生徒への影響が極力少なくなるよう、より近い距離にある学校から再編統合の検討の対象とする。

(2) 再編数・対象校 — 「県立高校再編の実施方針」(H30. 2. 5)

- ・ 再編統合については、4 件実施することとし、次の 8 校を対象校とする。
- ・ 「泊高校を入善高校に再編統合」、「水橋高校を富山北部高校に再編統合」、「高岡西高校を高岡高校に再編統合」、「南砺福光高校を南砺福野高校に再編統合」

(3) 今後の再編基準・再編数 — 「県立高校再編の実施方針」(H30. 2. 5)

- ・ 再編統合は、現在の小学校 1 年生が高校に入学する平成 38 年度(令和 8 年度)を見通して実施することとし、平成 39 年度(令和 9 年度)以降の対応については、中学校卒業予定者数の推移等を踏まえ別途協議することとする。

○各新高校の状況

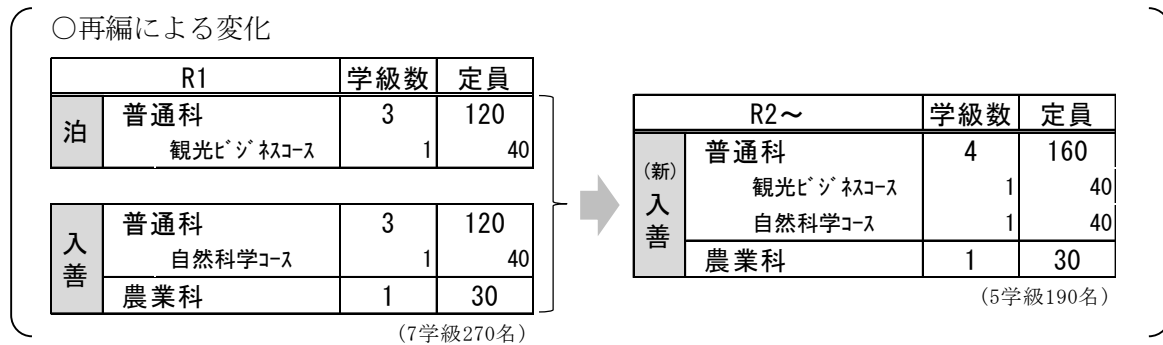
【 入善高校 】 普通科と職業系専門学科を併設する総合制高校

(令和2年に泊高校と入善高校を再編統合)

1 学科構成

学 科	普通科	農業科	合 計
募集定員	160名 (4学級)	30名 (1学級)	190名 (5学級)

※令和2年開校時の募集定員



2 目指す姿

◎地域の持続的発展に貢献する人材を育てます

- 普通科…一人ひとりの能力・適性・進路希望に合わせて適切な教育を行います
 - ・観光ビジネスコース…地域を学ぶだけでなく、地域で学ぶ
 - ・自然科学コース…智を求め、地に生きる。教科書を越えた学びがここにある
- 農業科…地域に根ざした農業教育 ～可能性をどこまで伸ばせるのか～

3 「魅力ある学校づくりのための仕組み」と実施状況

① 生徒の進路希望や興味・関心などに応じて、普通科の生徒が農業科の専門科目を学習し、農業科の生徒が普通科の科目を学習することができる仕組み

<実施状況>

- ・3年次8科目から可能な科目を選択
 - 普通科目…実践国語、探究国語、数学総合α、チャレンジスポーツ、音楽表現、美術表現、書道表現
 - 専門科目…生物活用

② 普通科では、「地域」を素材とした体験型の学び

<実施状況>

- ・1年次に、立山カルデラ砂防博物館で、立山カルデラの地形、環境、歴史についての講義。美女平や室堂平周辺で、気象観測、立山玉殿湧水と弥陀ヶ原の池塘の水質調査を実施
- ・出身自治体にみられる防災や福祉等の地域課題を取り上げ、情報収集や解決策を検討

- ③ 自然科学コースでは、体験学習を多く取り入れ、科学的なテーマの課題研究に取り組む

<実施状況>

- ・ 2年次に、糸魚川や黒部市吉田科学館を舞台に、自然の中で、教室ではできないフィールドワークを体験
- ・ 研究の成果を課題研究発表会で発表

- ④ 観光ビジネスコースでは、地域の自然や文化、歴史、産業などの観光資源について自ら課題を設定し課題の解決に向けた活動や研究を行う

<実施状況>

- ・ 2年次に、学校設定科目「観光基礎」において、地域をフィールドとして知る・調査する・発信することについて基礎的な方法を学ぶ
- ・ 3年次に、学校設定科目「エリアスタディ」において、地域の歴史や文化などを題材に自ら問いを立て深めることを通して人文社会科学的思考力を高める

- ⑤ 農業科では、地域に根差した農業教育を充実させるために、地域農家と協力し、教育と職業訓練を同時に進めるデュアルシステム型の長期委託実習に取り組む

<実施状況>

- ・ 3年次に、地域農家と協力して10日間の長期委託実習に取り組み、実践的な産業人を目指す

4 その他の状況

(1) 部活動の設置状況

	R1		R4
	泊	入善	新入善
運動系	9	10	12
文化系	6	7	7
計	15	17	19

泊高校のアーチェリー部を継承

(2) 新たな施設・設備

- アーチェリー場
- 設備 順化室・順化準備室整備、農場の教場整備・視聴覚教材整備

5 再編校校長からの意見

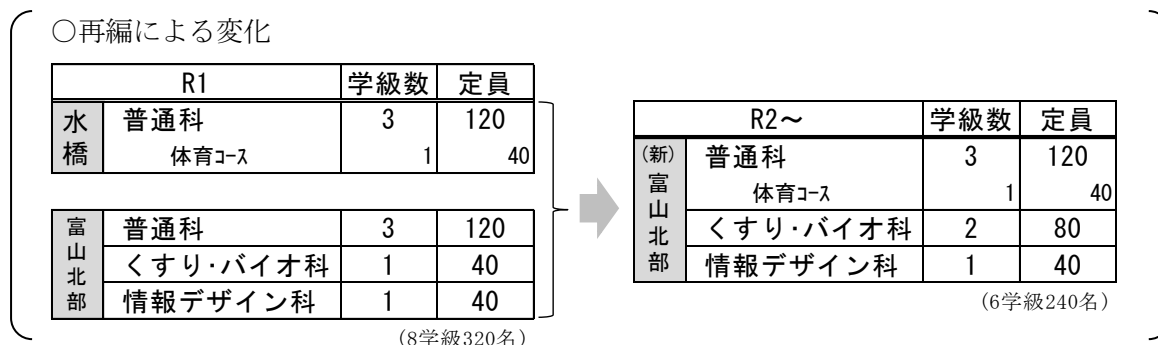
- ・ 観光ビジネスコースの増設により自然科学的側面からの探究活動に人文社会科学的側面からの活動が加わり、幅広い地域課題を取り扱うことが可能になった。
- ・ 総合選択科目の「生物活用」では、農業科生徒が普通科生徒に土の扱い方や播種方法を手ほどきするなど、異学科間の学びあいの場となっている。
- ・ 地域住民と生徒の交流機会が増え、地域活性化に貢献している。
- ・ 両コースとも体験型学習を多く取り入れる点など人気が高く定員を超える希望がある。
- ・ アーチェリー部では施設の充実に伴う練習効率の向上により創部3年目で北信越大会団体準優勝を成し遂げるなど成果をあげている。

【 富山北部高校 】 普通科と職業系専門学科 2 学科を併設する総合制高校 (令和 2 年に水橋高校と富山北部高校を再編統合)

1 学科構成

学 科	普通科	くすり・バイオ科	情報デザイン科	合 計
募集定員	120 名 (3 学級)	80 名 (2 学級)	40 名 (1 学級)	240 名 (6 学級)

※令和 2 年開校時の募集定員



2 目指す姿

- ◎ 4 つの学科・コースで個性を磨き 君の未来を切り拓きます
 - 普通科…確かな学力の定着と向上を図り、大学進学を目指します!!
 - ・ 体育コース…アスリートの育成とスポーツ振興のエキスパートを育てます!!
 - くすり・バイオ科…くすりの富山を支えるスペシャリストを目指します!!
 - 情報デザイン科…ビジネスとデザインのエキスパートを育てます!!

3 「魅力ある学校づくりのための仕組み」と実施状況

- ① 生徒の多様な学習ニーズに対応し、普通科の生徒が職業系の専門科目を学習したり、専門学科の生徒が他の職業系の専門科目や普通科の科目を学習したりできる仕組み

<実施状況>

- ・ 3 年次 10 科目から選択
 - 普通科目…倫理、公民研究、数学研究、英語研究、家庭研究
 - 専門科目…スポーツ研究、バイオ化学、薬品化学、ビジネス経済、デザイン研究

- ② 体育コースでは、体育の様々な種目・理論を幅広く学習するとともに、選択した種目を通じた専門的な学習活動

<実施状況>

- ・ 専門教科「体育」を設定し、陸上競技や水球、サッカー、剣道、フェンシング、カヌーなどの専門種目を専門的に学ぶ
- ・ 1 年次に「スポーツ学」講座を実施し、科学的トレーニング法やスポーツ栄養学、スポーツ心理学などを学ぶ
- ・ 2 年次には、スポーツに関する探究活動を行い、プロジェクト研究やフィールドワークに取り組む

- ③ くすり・バイオ科では、薬業やバイオに関する知識と技能・技術を修得するとともに、先進的な学術研究に触れるなどの専門的な学習活動

＜実施状況＞

- ・ 2年次から、進路希望や適性を考慮し、製薬技術系、薬品科学系、バイオ化学系の3系列に分かれて、それぞれの知識、技能の習得に重点をおいた学習
- ・ 県内製薬関連企業や研究機関との連携により、専門技術者の講義やインターンシップなどの実施
- ・ 富山県立大学や富山大学等による出前講義や研究室体験などの実施

- ④ 情報デザイン科では、ビジネスの基本を身に付けたデザイナーを育成し、地域・企業・大学・研究機関との連携による実践的な学習活動

＜実施状況＞

- ・ 2年次から、進路希望や適性を考慮し、情報処理や簿記会計などのビジネスに重点をおいたビジネス系とCGや商業デザインの実習をとおしてデザインに重点をおいたデザイン系に分かれて学習
- ・ 県内企業や富山県美術館などの関係機関との連携により、実習体験や起業家による講話などの実施
- ・ デザイン制作の模擬株式会社を設立し、活動をとおして、実践的な学習を推進

4 その他の状況

(1) 部活動の設置状況

	R1		R4
	水橋	富山北部	新富山北部
運動系	10	11	14
文化系	7	10	13
計	17	21	27

水橋高校の陸上競技部、カヌー部、フェンシング部、ハンドボール部を継承

(2) 新たな施設・設備

○フェンシング場

- 設備 くすり・バイオ科設備整備、フェンシング審判機器更新、カヌー更新、陸上競技設備整備

5 再編校校長からの意見

- ・ 学校規模が大きくなり、水橋高校から引き継いだ体育コースは、1年次開設でクラス替えもなく、学科に近い性格を持つ。体育コースの設置により、元々盛んであった本校の部活動の活性化が著しい。
- ・ 富山学区唯一の総合制高校として、大変特色のある学校となった。普通科と職業科のバランスも良く、高校で部活動を頑張る進学及び就職をしたい者のいずれのニーズにも対応できるため、魅力ある学校であると思われる。
- ・ 同窓会の理解と協力が大きく、再編に際しては、制服と校章の刷新、水橋高校の校訓と旧富山北部高校の校訓の両方を新高校の校訓とするなどした。2つの校訓を正面玄関と生徒昇降口に並べて掲額し、かつ校訓碑も並べて設置するなど、水橋高校と一つになる思いを前面に打ち出しているため、水橋高校からも概ね好意的に受け容れられていると感じる。
- ・ 水橋高校を卒業して大学進学した教員志望者が、本校で教育実習を希望するケースがかなり多い。

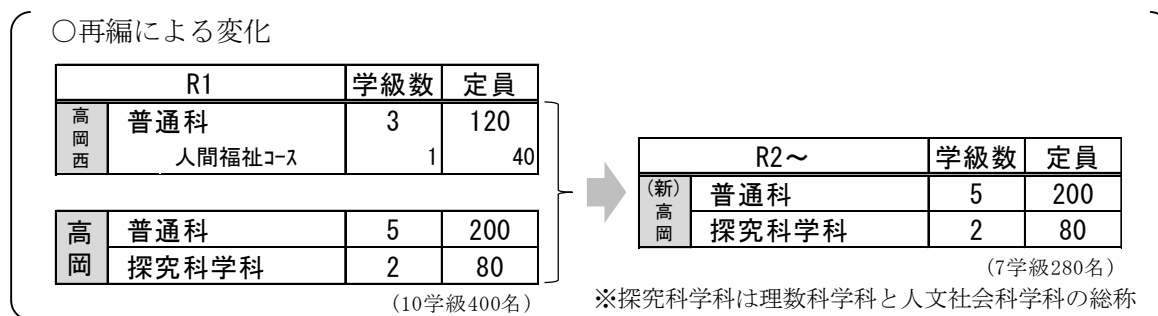
【 高岡高校 】 普通科と普通系専門学科 2 学科を併設する普通科系高校

(令和 2 年に高岡西高校と高岡高校を再編統合)

1 学科構成

学 科	普通科	理数科学科・人文社会科学科	合 計
募集定員	200 名 (5 学級)	80 名 (2 学級)	280 名 (7 学級)

※令和 2 年開校時の募集定員



2 目指す姿

- ◎ふるさとに誇りと愛着を持ったグローバル・リーダー（社会的役割）
- ◎「質実剛健」「自主自律」の精神を備えた人物（伝統・校風）
- ◎志高く、自ら学び、考え、行動する、聡く心豊かでたくましい生徒（人間性）

3 「魅力ある学校づくりのための仕組み」と実施状況

- ① 普通科では、探究的な学習を推進し、生徒が興味・関心のあるテーマを設定した探究活動

<実施状況>

- ・探究科学科との合同学習を実施し、「総合的な探究の時間」を中心に、探究科学科がこれまで培ってきた探究的な活動を取り入れる
- ・2年次には課題研究を実施し、その成果を発表

- ② 普通科では、生徒のニーズに柔軟に対応できる学校設定科目を開講し、知性に根差す豊かな人間性を培う学習活動

<実施状況>

- ・学校設定科目として、数学総合A～C、化学研究、地学研究、音楽研究、美術研究、書道研究、公民研究を開講し、生徒の多様なニーズに対応

- ③ 探究科学科では、学び問う力、豊かな人間性を基盤とし、探究的な学習や専門科目の学習の充実

<実施状況>

- ・「総合的な探究の時間」や教科の時間を活用し、探究活動に必要な「読む」「書く」「表す」「話す」のスキルを獲得する
- ・立山実習や関東方面への科学探訪等の本物に触れる体験学習を実施
- ・人文社会科学科は高志の国文学館、理数科学科は総合教育センターで実習を実施し、学科の専門性を高める
- ・従来通り、富山高校、富山中部高校と探究活動に関する合同研究を進め、3校合同の研究発表会を実施する

④ 地域貢献活動への生徒の自主的な参加の推進

<実施状況>

- ・地域の子ども食堂への協力などへのボランティア活動の参加
- ・年間を通じて、日本ジュニア数学オリンピックなどに興味を持っている呉西地区の中学生を集め、高岡高校生が数学を教える特別講座を実施
- ・行政や地域企業等と連携し、課題研究として地域課題の解決に取り組む

4 その他の状況

(1) 部活動の設置状況

	R1		R4
	高岡西	高岡	新高岡
運動系	13	14	14
文化系	9	18	19
計	22	32	33

高岡西高校のソフトテニス部を継承

(2) 新たな施設・設備

- トレーニングハウス
- 設備 テニスコート改修

5 再編校校長からの意見

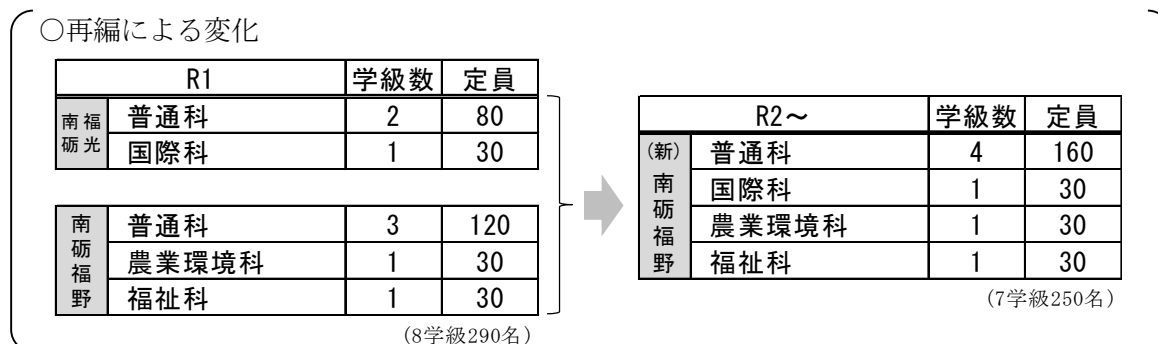
- ・高岡西高校と高岡高校の交流企画（合唱など）を実施することにより、高岡高校生が高岡西高校のボランティア精神や福祉マインドの一端に触れることができた。
- ・家庭部などを中心として、特別支援学校との交流や子ども食堂でのボランティア活動に新たに取り組むなど高岡西高校から引き継いだ活動を具体的に実現できるようになった。
- ・上記のことから、「学力向上」だけでなく、「人間性を育む」教育活動をこれまで以上に進めることができるようになった。

【 南砺福野高校 】 普通科と普通系及び職業系専門学科 3 学科を併設する総合制高校
 (令和 2 年に南砺福光高校と南砺福野高校を再編統合)

1 学科構成

学 科	普通科	国際科	農業環境科	福祉科	合 計
募集定員	160 名 (4 学級)	30 名 (1 学級)	30 名 (1 学級)	30 名 (1 学級)	250 名 (7 学級)

※令和 2 年開校時の募集定員



2 目指す姿

- ◎世界を見つめ南砺で学ぶ ～ Think globally Act locally ～
 - 普通科…学びを深め、未来を創造する
 - 国際科…主体的・対話的・実践的な活動を通して英語力を高める
 - 農業環境科…世界を見据え、地域の産業に貢献する
 - 福祉科…地域とつながる、介護のスペシャリストを目指す

3 「魅力ある学校づくりのための仕組み」と実施状況

- ① 生徒の多様な学習ニーズに対応し、普通科の生徒が職業系の専門科目を学習したり、専門学科の生徒が他の職業系の専門科目や普通科の科目を学習したりできる仕組み

＜実施状況＞

- ・ 2 年次 9 科目から可能な科目を選択
 普通科目…表現技術、音楽表現A、美術表現A、書道表現A、英語研究、ライフデザイン基礎
 専門科目…Advanced English、造園デザイン、介護福祉基礎
- ・ 3 年次 12 科目から可能な科目を選択
 普通科目…政治・経済、数学研究、実践数学β、音楽表現B、美術表現B、書道表現B、ライフデザイン
 専門科目…Advanced English、中国語会話、Scientific Reading、生物活用、介護福祉基礎

- ② 南砺市全域を対象エリアとし、地域の課題についての自主的な研究や、学校外での体験学習・調査研究を行う探究的な学習活動

＜実施状況＞

- ・ 1 年次に、普通科と国際科の生徒が「地域課題学習」として、グループで南砺・砺波地域の自然や文化・歴史、産業などから課題を設定し、地域における課題のよりよい解決方法について、自ら考え、提案する。
- ・ 2 年次に、普通科と国際科の生徒が「とやま地球学」として、校外での体験活動やボランティア、大学での公開講座等に参加、その成果をレポートにまとめる。

- ③ 国際科では、外国語教育に力を入れ、海外の高校との交流や語学研修を行うとともに、語学力を生かしたことに取り組む

＜実施状況＞

- ・外国語や異文化などについて学べるように、実用英語や英文多読講座、中国語入門、中国語会話等の科目を豊富に設定
- ・1年次に語学研修施設において異文化体験と英語に浸かる生活。2年次にオーストラリアで語学研修、ホームステイと現地高校での学習
- ・ICTを使って、外国の学生との双方向の交流

- ④ 農業環境科では、農業を中心として職業人を育成するため、幅広い実践力や問題解決能力を身に付ける学習活動に取り組む

＜実施状況＞

- ・2年次から、進路希望や適性を考慮し、野菜類型、草花類型、土木類型の3つの類型に分かれて学習
- ・農業実習やインターンシップ活動、農産物即売会などの実施
- ・地域の方々と共に教え合い学び合う「共学農園」の開催

- ⑤ 福祉科では、基礎科目を修得するとともに、実習を中心に将来の介護福祉現場に対応できる実践力を身につけ、介護福祉士国家試験に合格

＜実施状況＞

- ・3年間で約2カ月間、介護福祉施設における実習
- ・介護福祉士国家試験、5年連続全員合格（H29～R3）

4 その他の状況

(1) 部活動の設置状況

	R1		R4
	南砺福光	南砺福野	新南砺福野
運動系	9	19	21
文化系	8	13	14
計	17	32	35

南砺福光高校のライフル射撃部を継承

(2) 新たな施設・設備

○複合実習棟

○設備 食品加工設備、リフト付入浴設備、ビームライフル関連設備

5 再編校校長からの意見

- ・普通教科の教員が増加し、教科・進路指導の充実につながっている。
- ・国際科が加わったことで、他学科への刺激となっている。また、総合選択制における科目数が増加し、生徒は自らの興味・関心に応じた科目をより多様な選択肢の中から選ぶことができるようになった。
- ・4学科体制となり、生徒数も増加したため、学校行事や部活動により積極的に取り組もうとする雰囲気が生まれ、大いに活性化した。
- ・複合実習棟の整備により、実習や部活動において、一層充実した教育活動を行えるようになった。
- ・入学時の学力幅が広がり、よりきめ細かな指導が必要になった。